

# 素人美人妻月の

# 初撮りドキュメント

驚異の爆乳美魔女44歳

# NTR

GS  
glam sight



本中

## ドスケベボディ全開



### 驚異の豊乳美人妻を完全初撮り！



驚異のアラフォー、爆乳美魔女がAV初挑戦。清楚系な人妻の月さん。このルックス、このスタイルでなんと二人の子持ちなのだとか。その下のお子さんが大きくなり、最近手持ち無沙汰となったことから、何かしら仕事をしたいと考えて上のお子さんに相談したところ、なんとウチからデビューすることになりました(笑)。上のお子さん曰く、ムツリドスケベなお母さんにはまさに天職とのこと。そのドスケベぶりを全すことなく撮影しましたので、ぜひともご覧あれ。

人妻の熟れた肢体を貪る

### 素人美人妻月の初撮りドキュメント

藤生さん、ごめんなさい。気持ちいいの…

GS  
glam sight

企画制作 グラムサイト  
<https://www.glamsight.jp/>  
JPG | PDF | COLOR | 2400x1800px  
UA-002 | 105min | 800YEN



●このCG集は18歳未満への販売・貸し出しを禁じます。  
●このCG集の無断複製、及びネット上へのUPは禁止します。  
●この作品には18歳未満の人物は出演していません。

DOJIN  
R18  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止

105  
minutes

税込価格  
¥800  
UZAKI-02



素人美人妻月の初撮りドキュメント



いっせいでいい。お風呂はいいから早くお風呂を？

「えっと、月と申しませう」

ムキ

月さんですね。失礼ですがお威は……？

「……よ、四十四になります」



本当ですか？ 全然見えませんね。  
それで今回出演しようとなったきつかけは？

「ええっと、下の子が大きくなって手がかからなくなっただので、何かお仕事を初めてみようとして、上の子に相談したんですが……」



勧められたのがウチ、と？

「はい。お母さんにはピッタリだと言われました。  
その……このお仕事って、モデルか何かなんですけど？  
この水着を着るように言われて着たのはいいんですが、  
何というか、その……際どいというか」



えっ、何も聞かされてない？  
AV撮影なんですけど、すけども、

「はあ。」  
.....  
「はあー!？」



「え、え、えええええAVって、その……」

「アダルトビデオですね」

「あ、あの、やっぱりこのお話はなかったこと……」

「まあまあまあ……」





「あ、あの、困ります……」

「大丈夫です。大丈夫です」

「大丈夫って……ひいっ！」

おっ

ズ



「んんんんん……！」

「ほらほら、気持ち良くないですか？」

「いや、あの……本当に困……！」

「強……」



ググ

「ひあああああ……ん♡」

「あっ、今イッちゃいました?」

ゼクゼク

ク

クク

ク

ク





「はあ、はあ……や、やっぱりこんなとは」

「まあまあまあ……」

「あ、あの、これ以上は浮気になっちゃダメです！」

「大丈夫です。大丈夫です。アナルは浮気になりませんから」

「いや、大丈夫……って、アナル……!?!」

「ふんー」



「ひぐうー!」

「おお、ズツポシ」

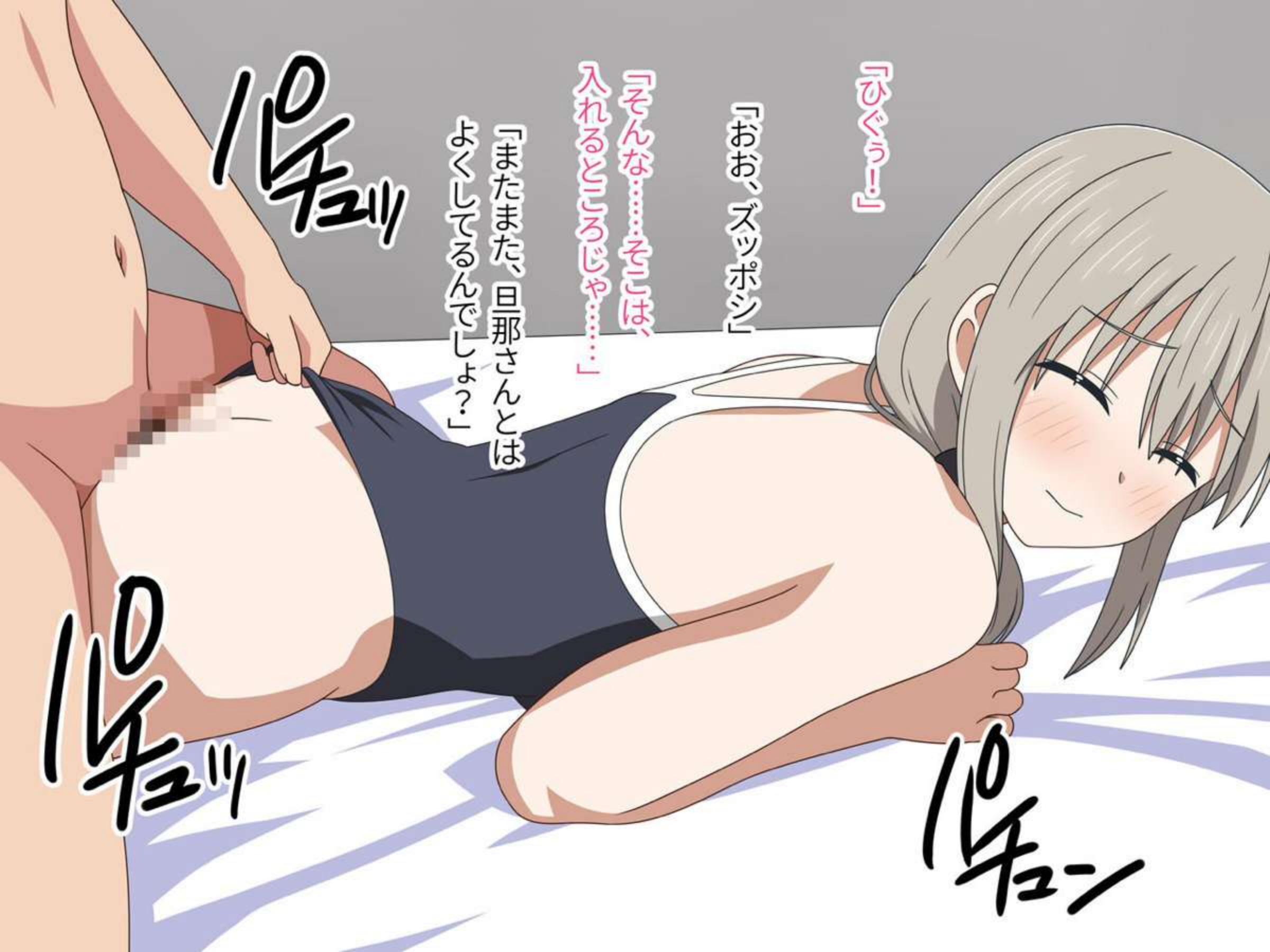
「そんな……そこは、  
入れるところじゃ……」

「またまた、旦那さんとは  
よくしてるんでしょっ?」

ひぐうー

ひぐうー

ひぐうー



「な、なんでそれを?」

「お子さんから聞きましたよ。」

「スプレなんかもよくするんでしょ?」

「~~~~~!」

10  
14  
20

10  
14  
20

10  
14  
20



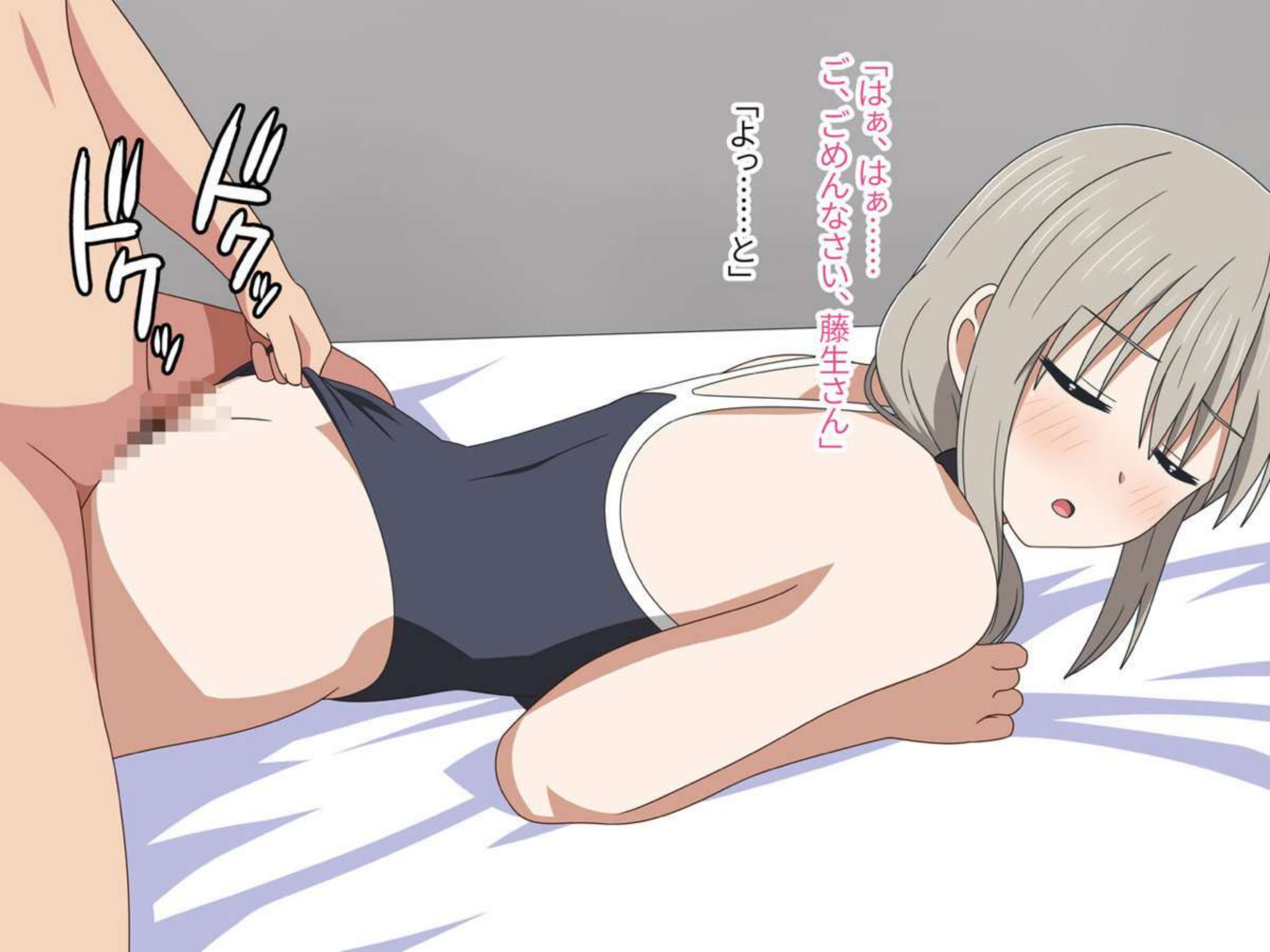
「あー、そろそろイキそうっす。  
イキますよ……うっっ！」

「あはあ、お尻の穴に熱いものが……っ」

と  
と  
と  
と  
と







「はあ、はあ……」

「じゅめんなさい、藤生さん」

「アッ……ッ」

クク  
クク

「うはあ、アナルがヒクヒクしてますよ」

「~~~~~!!」

ズ  
ズ



「あっ、出てきた。エロい音(笑)」

「ひゅ………」

んんん



「我ながらすごい量。  
よし、お風呂行きましょうか」



「あ、あのー、本当にもう……」

「大丈夫ですって。オマンコしなければ、  
浮気にはなりませんから」

「お、オマ……っ！」

「ヒッ」



「旦那さんは奥さんにゾッコンだって聞きましたよ？  
そんな人はAVなんてみないんで、バレることはない  
ですって。それに、奥さん見た目若くて美人なんで  
ギャラも上乘せしますよ」



「若い……美人……」

「本当、旦那さんが羨ましいっすよ」

「ぞ。そんなこと」

ん

ん



「あー、奥さん、俺……イキそう」

「えっ、あつ、イクんですか？」

「顔にかけていいですか？」

ハッ

アッ

アッ

「えっ、あつ、はい」





「んっ」

「あ、熱いのが……♡」

グ  
ン  
グ  
ン  
グ  
ン






「ア、こんな感じでいいですか？」

「あー、うん。いいかもよ」

キヌ



「手」キは初めてなんですか？」

「は、はあ。オツパイでするのは藤生さん  
……主人に頼まれてしたことはあったんですが」

「今度してあげたら喜ぶと思いますよ」

「そ、そうですね？」

ニコニコ



カ  
カ  
カ

「あー、イキそうじう。  
」のままイッちぢやいますね」

「あ、はら。どいぞ」

「へーっへー」

アッアッ

「あっ、はあ………凄いいおい」

「ふう………それじゃあ今度は  
お互いに舐めっ」しましようか」

「はい………はいっ」



「ふお、ふおんなはんひへ……」

「ああ、ううですらうです。  
そのまま続けて」



「んふう、んんん……」

「奥さんのオマシコって、子供三人も産んだとは思えないほど綺麗ですね」

「~~~~~!」



「んふ、ぢゅるるる……」

「っーか、クリもでっかあ。  
オッパイといい、本当にドスケベボディですね」

「~~~~~!」

ぢゅるるる

ぢゅるるる!!





「あつ、奥さんそろそろ口を離して  
横になつてもらえます？  
このままだとまたイツちやいそうなんで」

「……………？」

んんん

「あ、あのハセックスはしないって……」

「大丈夫です。編集でモザイクかけますから」

「えっ、いや、そういうことじゃ……んんー！」

ドク

ん



「ああ、入っちゃってる……。  
あの、せめてゴムを……」

「大丈夫、大丈夫。知ってました？  
四十代の妊娠確率は二から五パーセントですよ。  
そろそろデキませんかから」

「でも……」

スト

スト

スト

「まあまあまああ」

「んっ、んはあ、だめえ……だめなのお!」

「何がだめなんですか?」

「お、オチンチンでオマンコ突いちや  
ダメなのお!」

「なんで?」

「気持ちいいでしょ?」



「気持ちいいからダメなお、  
頭おかしくなっちゃうからあ♡」

「おかしくなっちゃえよ。ほら、イクぞ！  
膣内にたっぷり射精してやる！」

「だめ、だめえ………イツちやううう♡」

ビク  
ビク

ビク  
ビク

「膣内に出てる……。  
藤生さん、ごめんなさい」

「ほら、起きて。まだまだ  
これからですよ」

「ふえっ？」

ドク  
ドク



「はむ、んん！」

「あー、人妻マンコ気持ちいい。  
子供三人も産んだと思えないほど  
キツキツだわ」

トコトコ



「んふー、んふー」

「ほらほら、しっかりしやぶって。  
上からも下からもいっぱい精子  
飲ませてあげますからね」







「んふう、はあ……んん！」

「あー、精子のぼってきた。  
イキそうっすよ奥さん。  
俺の精子元気なんで、四十代でも  
バッチリ仕込めますからね！」



クン

「んんんっ！」

「イク！ 孕め！」

「あー、俺もイク！ 奥さん飲んで！」

「んんんっ！」

んんんっ！



「はあ、はあ、はあ……」

「あー、たまんねー。  
マジで四十代と思えない  
ドスケベボディだわ」

「……………」



ムアッ

「エロいですよ奥さん。  
にしても、二人分の精子、  
たっぷり中出しししちゃい  
ましたね」

「う、こんな格好……」



「早く精子出さないと……  
妊娠しちゃう」

「大丈夫ですって。」

まあ、出来たら出来たで、  
旦那さんの子ってことにすれば」

「そんなあ……」



ズッ

「えっ、ああ……！」

「ほら、精子がもれないよう、  
栓をしておきますよ」



「妊娠したら連絡くださいね。  
今度はポテ腹で撮影しましょう」

「うっ……」

んっ



「ごめんなさい、藤生さん……」

あーん





「いやー、まさかこの歳で四人目が  
できるなんてなあ。ほんまめでたい！」

「ぞ、ぞう………ですな」

パン

パン

パン

パン



「三人とも月さんに似てるから、  
次の子も月さん似かな！」

「そ、そう……だといいんですけど」

パン

パン

パン

パン



「あー、月さん、月さん！イクよー！」

「きてえ、藤生さんの精子で  
オマンこいっぱいにしてえ！」

「うーうー」

ド  
コ  
コ  
コ

んっ

んっ

「ああ、いっぱい出てる……♡」

「なんや今日の月さん、えらい積極的やな」

「そ、そう、かしらっ？」

「よーじ、そのまま一回戦といっかー！」

「あん♡」



